

レジメン登録フォーマット

申請年月日	2019/12/19	使用開始日	
登録診療科	婦人科	申請医師	増原 完治
レジメン名	tri-weekly TC+アバスチン(ホスアプレビタント)(卵巣がん・子宮頸がん)		
疾患名	卵巣がん・子宮頸がん	適応の備考	
適応分類	進行・再発・術後補助化学療法		
1コース日数	21 日間	総コース数	有効な限り コース 催吐性リスク 高度

抗がん剤投与量・投与日||パクリタキセル175mg/m² day1、カルボプラチン5AUC/body day1、アバスチン15mg/kg day1

治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	ホスアプレビタント注150mg	1 本 / body	30 分	●																				
2	主ルート	生食50mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	15 分	●																				
		デキサート注1.65mg	2 本 / body			●																			
		ファモチジン注20mg	1 本 / body			●																			
点滴静注	ボララミン注5mg	1 本 / body		●																					
3	主ルート	ハロ/セトン注ハック0.75mg	1 本 / body		●																				
	点滴静注			30 分	●																				
4	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	パクリタキセル注	175 mg / m ²	3 時間	●																				
5	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	カルボプラチン注	5 AUC / body	60 分	●																				
6	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	アバスチン注	15 mg / kg	90 分	●																				
アバスチン投与速度は1回目90分、2回目60分、3回目以降30分。																									
7	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
	点滴静注																								
	経口投与	デカドロン錠 分2 朝昼食後	8 mg / body			●																			
	経口投与	デカドロン錠 分2 朝昼食後	16 mg / body				●	●																	

【投与上の注意】

- ・ホスアプレビタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
 - ・ホスアプレビタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
 - ・ホスアプレビタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
- アバスチン:希釈は生食のみ。
 アバスチン:投与速度は1回目90分、2回目60分、3回目以降30分。
 パクリタキセル:前投薬としてデキサート注、ファモチジン20mg、ボララミン注5mg静注が必要。
 パクリタキセル:DEHPフリー(フィルターつき)点滴セット使用。0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを使用し投与すること。
 パクリタキセル:アルコール不耐症がないことを確認する。